

平成11年  
11月25日

第101号

発行 守谷町議会  
編集 守谷町議会事務局  
TEL (0297) 45-1111 (内532)  
茨城県北相馬郡守谷町  
大字大柏950-1

# もりやまち 議会だより

もくじ

- ①ページ 議決内容・請願・陳情
- ②ページ
- ③ページ
- ④ページ 一般質問
- ⑤ページ
- ⑥ページ
- ⑦ページ
- ⑧ページ 一般質問・定例会日程



2000年に備え守りは万全! (茨城県消防ポンプ操法競技大会北相馬地区大会)

## 平成10年度決算認定 町長並びに助役の給与減額条例 飲酒運転追放に関する決議 など可決

平成11年第3回定例会が、去る9月8日から24日まで、17日間の会期で開かれました。  
今回の定例会には、町長提出議案23件が提出され、1件が否決されました。  
また、議員提出議案6件が提出され、1件が否決されました。

## 第3回 定例会

- 平成10年度各会計決算認定
- 一般会計
- 公共下水道事業特別会計
- 国民健康保険特別会計
- 老人保健特別会計
- 守谷駅周辺一体型土地区画整理事業特別会計
- 公共用地先行取得事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 水道事業会計
- 専決処分事項の承認
- 平成11年度守谷町一般会計補正予算
- 土塔中央保育所で発生した食中毒に対処するため、弁当供給業務委託及び調理室改修工事など専決処分したものの。
- 条例制定
- 平成11年10月1日から同年12月31日までの間に町長並びに助役の給与の減額に関する条例
- 町民に迷惑をかける不祥事が重なったことに対し、町政執行の責任者として町長は10%を、助役は5%を減額するもの。
- 条例の一部改正
- 守谷町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が制定され、人事院規則が改正されたことに伴うもの。
- 守谷町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正

- する条例
- 国の緊急雇用対策に係る社会人IT配置事業により、本年10月から2カ年にわたる小中学校非常勤講師を配置するため、その報酬等を追加するもの。
- 規約の一部改正
- 茨城県市町村総合事務組合規約等の一部を改正する規約
- 茨城県市町村総合事務組合事務所の移転に伴うもの。
- 補正予算
- 一般会計(第2号)
- 歳入歳出それぞれ5億7390万3000円の増額及び地方債の変更。
- 一般会計(第3号)
- 歳入歳出それぞれ436万5000円の増額で、国の緊急雇用対策に係る社会人IT配置事業によるもの。
- 公共下水道事業特別会計
- 歳入歳出それぞれ242万4000円の増額。
- 国民健康保険特別会計
- 歳入歳出それぞれ1億517万9000円の増額。
- 老人保健特別会計
- 歳入歳出それぞれ746万円の増額。
- 守谷駅周辺一体型土地区画整理事業特別会計
- 歳入歳出それぞれ681万6000円の増額。
- 農業集落排水事業特別会計
- 繰越金及び消費税還付額の確定による増減並びにそれらに伴う繰入金の増額補正。
- 水道事業会計
- 西暦2000年問題に対処するための受電回路の改造費、自家発電機の借上料及び燃料代の増額と県企業局水道料金改定に伴う受水費及び人事異動等による職員給与費の増額。
- 工事請負契約の締結
- 11国道補修道1-1号仮設道路整備合併工事

- 守谷地区における都市計画道路郷州沼崎線整備工事
- 原案否決
- 守谷町職員定数条例の一部を改正する条例
- 行政需要の複雑多様化に伴う行政サービス向上を図り、職員定数を変更するもの。
- 議員提出議案
- ゆたかな教育を実現するため義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書
- ゆたかな教育を実現するための教育予算の充実、30人以下学級を柱とする新たな標準法の制定を求める意見書
- 「WTO(世界貿易機関)次期農業交渉」に関する意見書
- 道路特定財源の確保に関する意見書
- 守谷町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 議会議員が月の途中で就職し、又は退職等をした場合、報酬の支給について、町長等特別職や一般職の職員と同様に、その当月分を日割り計算により積算して支給しようとするもの。
- 請願・陳情
- 皆さんから出された請願・陳情の審査結果をお知らせします。
- ★採択
- みずき野を始発とする「東京行き高速バス運行」に関する請願
- ゆたかな教育を実現するため義務教育費国庫負担制

- 度の堅持を求める請願
- ゆたかな教育を実現するための教育予算の充実、30人以下学級を柱とする新たな標準法の制定を求める請願
- 「WTO(世界貿易機関)次期農業交渉」に関する陳情
- ★趣旨採択
- 「守谷町政治倫理条例」の制定を求める陳情
- ★継続審査
- 悪書追放に関する陳情
- コメを飼料用にまわす措置に反対する意見書の提出を求める陳情
- ★不採択
- 国立医療機関の統廃合・経営移譲・廃止・独立医療法人化を求める意見書提出に関する陳情
- 臨時会
- 去る7月14日に第3回臨時会が開催されました。以下、議決内容をお知らせします。
- 工事請負契約の締結
- 高野小学校既存校舎改修及び耐震補強工事
- 改修工事918・00平方メートル、耐震補強工事592・00平方メートル、一部増築工事201・00平方メートル。
- 高野小学校外構工事
- 舗装工事、フェンス工事、渡り廊下工事等。
- 議員提出議案
- オウム真理教集団の活動を制限し住民の平和な暮らしを守るため厳正なる措置を求める意見書
- 請願・陳情
- ★採択
- 「オウム真理教集団の活動を制限し住民の平和な暮らしを守るため厳正なる措置を求める意見書」提出を求める陳情(2件)



# 一般質問

(要旨)

本定例会における一般質問は、去る9月21・22・24日の3日間にわたって行われました。  
質問には12名が登壇し、活発な質問が行われました。

## 都市軸道を交互交通に！

中田孝太郎 議員

中田議員 都市軸道路については、常磐新線の開発発表以来、新線を軸にして高規格道路をつくり、そして地域沿線の開発、あるいは産業の振興に尽くすという事で計画されているが、軸道のわきに副道をつくり、交互交通として、一般の車両等が地域に自由に入出りできる構造に出来ないものか伺いたい。

都市整備部長 この都市軸道路については、片側二〇メートルの一方通行で計画されているが、地元からも交互交通の要望があり、町の方からも県にお願いをしているところである。

また、取手警察署で交通規制等の協議が済み、本部の交通規制課と協議中とのことであり、近々、結論が出てくるものと思われる。

## あやめ祭り

中田議員 あやめ祭りとアサヒビール祭りの関係について伺いたい。

生活経済部長 あやめ祭りは、平成5年度から開催しており、当初、平成5年、6年の2力年は、単独の開催であったため入場者数も第1回目は500人、第2回目が1,000名程度と少ない入場者であった。

この反省を踏まえ、第3回以降、アサヒビールの感謝デーと同時開催とし、あやめ祭りの来場者数も年々増加し、今年は、アサヒビ

## 黒内地区排水路

中田議員 黒内地区の排水路について、中央公民館の南側の排水路は流れが悪く、雨が降ると、道路上に大量の水がたまってしまいう状態

イル感謝デーの来場者数が約2万5千人、アサメ祭りの来場者数は6500人となっている。

中田議員 双方に本当に励みになり、上手に盛り上げるような方法を考えていた方がいいだろうか。

生活経済部長 あやめ祭りについては、町内の各種団体で構成する実行委員会を設置し、イベントの企画運営等を検討しているが、反省会においてイベント内容等問題点が出ており、来年はより多くの参加が得られるよう努力していきたい。

## 白寿荘のお風呂の改修を！

中田議員 白寿荘については、約28年の歴史がたつており、老朽化が進み、現在の余暇需要に対応できない施設となっている。

常総地方老人福祉センタ



改修がまたれる白寿荘のお風呂

一修繕管理計画の中には、多目的レジャー施設として、平成8年に組合会議で常総環境センターの風呂新設が計画されていたが、管理者間でこのような修繕計画を出し、年度別に事業を約束しながら、できなかった理由を伺いたい。

町長 現在、最終処分場の計画があり、それらの計画とリンクさせていかなければならないと考えており、高温溶融を採用したため、溶融施設をつくらなければならなくなった。また、今の炉そのものが、耐用年数に近づいており、それらとあわせて計画を立てなければならぬ。従って、白寿荘の建設も遅れてしまっているというところである。

中田議員 最近では白寿荘のお風呂や施設等の利用度も増しており、利用者の約45%、約1万7千人が守谷町民であり、現代にマッチ

した部分的改修をお願いしたいがどうか。

町長 高齢者対策等については非常にマッチしていない建物であり、お風呂等についても、部分的な改修を含めて検討したい。

## 改正男女雇用機会均等法

中田議員 改正男女雇用機会均等法が今年の四月から施行され、募集、採用、配置、教育訓練、一定の福利、定年退職、解雇について女性に対する差別を禁止しており、事業主はそれに対応する方針の明確化、周知徹底あるいは啓蒙、相談や苦情の対応等、事務の適正な対応を義務づけられているが、守谷町においても四百数名の職員がおり、この対応について伺いたい。

総務部長 守谷町においては、待遇、雇用問題に対して、女性だからと言うことで差別はしていない。

また、セクシュアルハラスメントの職場の啓蒙啓発については、現在のところ取り組んでおらず、大至急周知徹底を図っていききたい。

中田議員 事業主が方針を決めて、きちんと明確に周知徹底させるのが義務であり、それをやらないのは職務怠慢である。

早急に対応をお願いしたい。

## 奨学金制度の充実

中田議員 ふるさと創生事業については、昭和63年から1億円を国から地方に交付しており、平成2年からは地域づくり推進事業、5年から第2次ふるさとづくり事業、平成8年からはふるさとづくり事業と名目を変えて交付している。

創生事業の一環として、人づくりの中で創生基金を奨学金制度に振り分け、一部でも援助をしたらどうか。

また、奨学金制度を大々的にPRし、利用促進を図ってはどうか。

町長 今年度からは補助金がないということであり、奨学金制度については、利用が少ないので、今後、PR等をしていきたい。

中田議員 資金を基金に組み入れたものもあり、基金等の積み立ても利用しながら、奨学金制度を拡張し、手助けをしていくことも必要と考えるがどうか。

総務部長 国際交流基金、緑化基金、青少年海外派遣基金、城跡公園整備基金の4つの基金にふるさと事業関係の交付金を充当しているが、各基金とも条例をつくり、その目的に合った形での積み立てをしており、現在の状況の中で、奨学金に回すことは難しい。

## 守谷のPRを！

中田議員 守谷町の市制施行については、平成12年10月の国勢調査を経て、5万人を超すことが微妙になり、市制準備協議会では、非常に厳しい認識を持ったというところである。

その間、町ではイメージアップのため、高速バス運行等いろいろと努力をしているところであるが、守谷に来てくださるというPR作戦を実施してはどうか。

町長 土地の公示価格が発表され、東京都内のマンションなどが大分下がったというところで、東京へ帰る方が非常に多いということであるが、PR等努力していきたい。

## 少子化対策ビジョンを急げ！

中村 信行 議員

中村(信)議員 少子・高齢化社会対策の取り組み状況について、伺いたい。

助役 関係各課によるプロジェクトチームや、職員による少子化対策検討委員会を設置し、有効的な対策を講ずるよう検討に入っている。

また、必要に応じ既に設置してある審議会、協議会で意見を聴取し、民間グループ、団体等の意見を聞き事業に反映していきたい。

中村(信)議員 少子化対策臨時特例交付金については、守谷町は6688万という数字が出ており、趣旨としては、保育所の待機児童の解消を初め、少子化対策の呼び水として効果的な創意工夫のある幅広い取り組みの保育、教育等の事業及び民間が実施する当該事業に交付し、できる限り民間活力の活用を図るとともに、雇用、就業の機会の創出を図るよう配慮することとなっている。

交付の明確な基準、交付金の有効活用のための方策を伺いたい。

保健福祉部長 交付の対象事業に従い、町内の保育園連あるいは教育関連も含め、町内の関連施設に交付金要望のとりまとめをし、県に申請をした。

その中で、幼稚園については、同額で交付をしてほしいという要望であった。

助役 この事業は、11年度中の執行が原則であるが、市町村においては、事業者の決定や事業規模の確定に時間を要するため11年度中

## CO<sub>2</sub>削減を！

中村(信)議員 1997年京都会議が開かれ、地球温暖化防止のため、日本では、CO<sub>2</sub>を始めとする温室効果ガス排出量を2008年から2012年の5年間で平均で1990年当時に比べ6%抑える目標値を設定された。

守谷町では、これから基本計画を策定していくが、守谷町の公用車、職員の通勤車の総量が何台で、日量どれくらい排出ガスを出しているか。また、年間ではどうか伺いたい。

総務部長 職員が通勤に使っている台数は381台で、公用車は消防団まで入れ87台である。

生活経済部長 自動車から排出される二酸化炭素の量は、日本全体で概ね一日46万トンで、二酸化炭素排出量の20%を占めており、そのうちの8割以上が乗用車である。

先日、職員のノーマイカーデーを実施し、251台が自粛した。職員の通勤距離を平均10キロメートルとして、二酸化炭素排出量が、1キロで150グラムのCO<sub>2</sub>が排出されると換算すると、376キログラムの排

ガス削減がされたことにな  
る。  
中村（信）議員 公用車を  
平成12年に新しくなる排ガ  
ス規制をクリアできる低公  
害車に切りかえ、ノーマイ  
カーデーと合わせて、自治  
体が具体的に削減の目標を  
達成することが大事であり、  
また、明確に環境基本計画  
の中にうたい込んでもらい  
たい。

## ジェンダー フリー教育

中村（信）議員 ジェンダ  
ーフリー教育とは、社会的  
につくられていく性差別意  
識をなくしていくという  
ことであり、男女共同参画  
社会の一番のベースをなし  
ていくものと考えているが、実  
際、学校現場でも性差別意  
識を押しつけている事例が  
あり、非常に大きな問題に  
なっている。

学校職員並びに教員に対  
するきちんとした指導をす  
ること、まず実施して、  
体験させることが大事だと  
思うが、見解を伺いたい。  
教育長 ジェンダーフリー  
教育導入について、積極的  
に考えていきたい。特に、  
教師の意識と同時に、父兄  
の皆さんも含めて対応し  
ていかなければならないと  
思う。

## 給食から遺伝子 組換え食品の排除を！

中村（信）議員 学校給食  
の中で、遺伝子組み換え食  
品の使用量がどのくらい入  
っているのか、また、献立  
の中に、その旨の明記、さ  
らに、食材の中からでき得  
る限り遺伝子組み換え食品  
は排除してもらいたいがど  
うか。

教育次長 野菜関係は地場

産の野菜を使っているの  
で、問題は無いと思う。た  
だ、大豆、トウモロコシ、菜  
種等に入っているものもあり、  
また、加工食品として給食  
センターで購入しているし  
ようゆ、油については入っ  
ていない製品があるのかど  
うか、単価的に国内生産の  
大豆等であるのかという  
問題もあるが、できるだけ  
排除していきたい。

明示については、農水省  
で2001年には表示した  
いという意向であり、今後  
は表示もしていかなければ  
ならないと考えている。

## 介護保険事業計画

中村（信）議員 横出しサ  
ービスについては、守谷町  
は提供する施設の基盤が弱  
く、広域的に施設を利用し  
なければならず、移送サー  
ビスが必要となり、そこに  
事業が発生し、民間参入で  
競争が生れてくる。

また、ヘルパーの家事介  
護の中に、食事をつくるこ  
ととそうじは含まれており、  
マンパワーの不足を配食サ  
ービスによって補完でき、  
独居老人の栄養管理、健康  
づくり、自立を促すという  
ことにもつながり、まさに  
横出しサービスを行うため  
の基準に沿っている。

また、費用負担について  
は行政の応分負担を含めて  
検討していただきたいと思  
うが、見解を伺いたい。

保健福祉部長 現在、守谷  
町で行っている在宅福祉サ  
ービスの法定外分について  
は、基本的には、介護保険  
に入れないで在宅老人福祉  
サービスでやっていきたい。  
ただ、介護保険の場合には  
1割負担になり、均衡を保  
つ意味から、今まで無料  
であったサービスについて

は、応分の負担は必要であ  
ると考えている。

中村（信）議員 守谷町は  
12年度で高齢者が約560  
0人。その中で、年収12  
5万円以下の方が4155  
人おり約70%に達する。所  
得の少ない方に負担をかけ  
ないよう所得段階を現在の  
5段階からより下げて、7  
段階ぐらゐの段階を設け、  
補正係数を、例えば現行の  
0・5から0・2とか0・  
3に下げてはどうか。

## 政治倫理条例

保健福祉部長 現在、守谷  
町においては、基準額自体  
としては全国標準をかなり  
下回っている。原則的  
には標準である5段階の保  
険料でやっていきたい。

中村（信）議員 認定審査  
会の構成については、守谷  
町は施設が少なく、特定の  
施設に偏って人選しなければ  
いけないという弊害があ  
るが、見解を伺いたい。

保健福祉部長 守谷町にお  
いては、14名の委員で、7  
名、7名の2つの合議体を  
設置し、交代に審議をして  
頂くことで現在進んでおり、  
医師のみでなく、作業療法  
士、看護婦等も入っている。  
また、医師会から4名の  
推薦を受け、1合議体2名  
が出席できない場合がある  
ので、1名ずつ交代のロー  
テーションで6名で審査を  
する形で進めている。

中村（信）議員 保険制度  
というのは、保険料を払っ

## 新守谷駅前交差点の渋滞解消！

山田 清美 議員

山田議員 北守谷側から国  
道294号に向かう新守谷  
駅前交差点は、左折、直進、  
右折2本の4車線になって  
いるが、駅に向かう直進は

てくれる方がいて発生し、  
維持できる制度であり、今  
までの措置の中で行われて  
いたような不透明さがある  
と、極端に言うとう崩壊する  
可能性がある。

特にこの法律の中で際立  
っているのは、情報の公開  
と被保険者の権利を明確に  
しているところだと思ふ。  
3年の保険料計画のロー  
リングの過程で、さまざま  
な意見を参考にしながら改  
善していただきたい。

中村（信）議員 県内で政  
治倫理条例を制定している  
市町村数とその主な特徴、  
条例制定に至るプロセスを  
伺いたい。

総務部長 県内では土浦市、  
石岡市、龍ヶ崎市、藤代町  
の四つである。  
特徴としては、土浦にお  
いては、対象が議員のみで  
あり、議員発議によって本  
会議で上程となっている。  
石岡市の場合は、市長と  
議員が対象であり、これも  
議員発議で上程されたが、  
市長、収入役、総務部長、  
会派の代表による非公式の  
検討委員会をつくり審議し  
たそうである。

龍ヶ崎市、藤代町は議員  
のみで、これも議員発議で  
ある。議員による特別委員  
会を8人で設置し審議した。



新守谷駅前交差点

## 学童保育所に クーラーを！

山田議員 学童保育施設の  
空調機について、実態はど  
うなっているのか、また、  
取りつけ基準を伺いたい。

保健福祉部長 高野、北守  
谷、南守谷児童クラブは空  
調機があるが、他の児童ク  
ラブは、小学校の空き教室  
を利用したものであり、設  
備がないのが現状である。  
今年は特に暑かったこと  
もあり、クーラーボックス  
等を購入して、弁当の保管  
などをしていたが、今年度  
に限り少子化対策の特例給  
付金が給付されるので、各  
学校の施設にも空調機を設

置していきたい。

## 中学校区単位に デイサービスセンターを！

山田議員 保険料の試算は、  
策定委員会の中でサービス  
との関係で、どのように検  
討されてきたのか伺いたい。  
保健福祉部長 介護保険の  
法定給付は17種類であり、  
保険料の算定の基準となる  
昨年度実施した高齢者の実  
態調査をもとに、高齢者人  
口の予測、施設サービス対  
象者の推計、居宅における  
サービス対象者の推計、居  
宅サービス標準料の算出を  
し、それらの比率、居宅サ  
ービスの種類ごとのアンケ  
ート等による希望率、居宅  
サービスの種類ごとの必要  
量・目標量を設定して、国  
から示されている給付費用  
等、給付総額がどれぐら  
いになるか算出する。

その中で国あるいは県、  
町が負担する部分以外が65  
歳以上の1号被保険者と40  
歳から64歳までの2号被保  
険者の保険料で賄うので、  
被保険者を割り出して、試  
算をしたものが守谷町の2  
325万円で、介護保険事業  
計画策定委員会の2次案と  
して出したものである。

また、3次案として約2  
484万である。  
山田議員 現在、守谷町が  
高齢者福祉の立場から行っ  
ている福祉サービスを含め、  
水準を落とさないで行った  
場合に、どの程度の保険料  
になるのか、伺いたい。

保健福祉部長 紙おむつを  
従来どおり1日2枚実施す  
ると、年間800万円、3  
カ年で約2400百万円、  
それらを保険料の算出基準  
に入れると、約2600万円  
程度になる。  
また、配食サービスを含  
めると約2610万円になり、

はり、きゆう、マッサージ  
を取り込むと約2690万円  
程度になる。

山田議員 守谷町は茨城県  
で一番若い町と言われている  
が、法定内の保険料が、  
茨城県の平均並みに出てき  
ており疑問が残る。また、  
収納率は国保の収納率を基  
準にしたのか、あるいは国  
保以上に設定されたのか、  
伺いたい。

保健福祉部長 守谷町は後  
期高齢者の人口比率が高く、  
特別養護老人ホーム、老人  
保健施設、療養型病床群の  
参酌標準として、厚生省か  
らは8対7対5という標準  
が出されているが、7対9  
対4の比率で算出している。  
また、現在守谷町の国保  
の収納率は91%であり、で  
きる限り実態に即した収納  
率を考え、現在の国保の収納  
率を十分参考にしたい。

山田議員 保険料の滞納者  
と利用料の1割負担に対し、  
何らかの措置や町独自の融  
資制度が必要と考えるが、  
見解を伺いたい。  
保健福祉部長 保険料は、  
原則的には、お互いに社会  
全体で支え合っていく社会  
保険方式の制度であり、低  
所得者対策として、減免制  
度は出てくると思う。

また、利用料については、  
自己負担の上限を設け、現  
在、案として一般の場合3  
万7200円、住民税の非  
課税世帯で2万4600円、  
高齢福祉年金受給者の場合  
だと1万5000円までと  
なっている。  
また、融資制度について  
は、今後充分に研究、検討  
していきたい。

## 14000の 早期取得を！

山田議員 環境基本計画に  
ついて、現在、公開の計画  
をどのように考えているか  
伺いたい。

アハウス、ノーマライゼー  
ション的なものをとらえた  
町営住宅が今後必要ではな  
いかと思うがどうか。  
また、在宅介護が中心に  
なっていると、今後、デイ  
サービスや病院等へ行っ  
たりする移送サービスが非  
常に重要な位置を占めてく  
ると思われ、早急な対策が必  
要と思うがどうか。  
保健福祉部長 在宅では見  
られない方のために、グル  
ープホームあるいはケアハ  
ウスといった高齢者向けの  
対策が必要になってくるだ  
ろうと思う。

また、移送サービスにつ  
いては、外郭団体、例えば  
社協とかNPO、あるいは、  
ボランティアの参入を期待  
している。  
山田議員 デイサービスセ  
ンターの方向性、あるいは、  
老人のコミュニケーション施  
設について見解を伺いたい。  
保健福祉部長 介護保険導  
入後、自立と判断されても、  
今までデイサービスセンタ  
ーといった福祉サービスを  
利用していた方については、  
要介護状態にならない予防  
事業も必要である。

理想的には、デイサービ  
スセンターを中学校区単位  
で利用できるのが一番良い  
が、予防をする意味でも、  
身近な場所で小学校の空き  
教室を活用したミニデイサ  
ービス、あるいは今度予定  
している役場の入り口の（仮  
称）いきいきプラザげんき  
館といった施設を活用した  
生きた活動をやっていき  
たいと考えている。

生活経済部長 環境基本計画策定協議会委員を募集し、また、計画を策定するに当たりアンケート調査を実施した。

行動計画の策定に当たっては、地域住民の説明会、地区協議会等の設置、さらに、事業者、一般の市民の皆さん方のご意見をお聞きしたいと考えている。

山田議員 環境管理システムの国際規格14000取得に際しての進捗状況について伺いたい。

生活経済部長 環境基本計画と同時に国際標準化機構の認証取得を進めてはどうかということ、認証取得に関する説明会に出席し、調査研究中である。

町長 取得に際しては、来年の4月に、専任の者を置いてやらなければできないのではないかと考えている。

### 開かれた学校を！

山田議員 学校評議員制度の導入について、見解を伺いたい。

教育長 評議員については校長が委嘱し、教育委員会

### 子供に情操教育を！

小関 道也 議員

小関議員 NHKの番組で岩手県の木細工小学校で作文を通じて子供の情操教育をして成果を上げているのが紹介され、素直に育っている姿に深い感銘を受けた。

また、子供たちのいじめは潜在化していると報じられ、祖父母と暮らしたいと思う子が半数に満たないことに驚かされた。

普通の子が切れて問題を

で任命するような形になりそうであり、学校の主体性を非常に尊重している制度であるので、学校の姿勢をつくるということに力を入れていきたい。

山田議員 男女混合名簿は、基本的にはジェンダーフリーの考えから、特に男女の自立と平等という教育が、学校の中では必要だということ、現在、男女共同参画社会を目指して進めているが、公共機関、特に学校教育委員会において作成する名簿については男女混合型にすべきではないかと、思うが、見解を伺いたい。

教育長 ジェンダーフリー理念は、これからの教育では非常に重要な内容となつて来ると、男女混合名簿を契機として、無意識に気づいてもらい、そのためには普段の教育活動の中で、性差を助長するような教育活動がないように基盤づくりをするのが先決である。

ジェンダーフリーの教育について十分普及を図るとともに、混合名簿導入については、学校が主体となり導入できるような姿勢をつくりたい。

町主催の作文コンクールを行ってみたい。学校で行ってみたい。各教育活動の中で、心の教育には十分配慮し、進めているところであるが、作文だけではすべてがカバーしきれないと思うので、各教科、領域、道徳とか特別活動の中で文学教材に接したり、自然観察、美術、音楽、演劇鑑賞など、あるいは日常起居の問題の中で人間関係等についての話し合いを持ったり、場合によっては個人個人の子供と対面しながらその子供が持っている悩みをお互いに聞き合つてカウンセリングをするという形で、心の教育を進めることを本として、町長賞という形で表彰する。町長賞、学校で実施している作文指導等で優秀な成果が上つたもの、例えば、作文コンクールに応募して優秀な成績を上げたこと、本町の作文教育のレベルを上げることに刺激を与えたとかいう場合には町長賞というものが有効であり、表彰制度に参加する主体性というのを各学校現場に求めたい。

また、実際に今学校で行われている作文指導の一部分では、生活文の指導という領域の中で、先生と子供の対話の中で文章をつくり上げていく、心を広げていくという活動も実践されており、新教育課程の中では、そういった面の配慮は進められていくのではないかと考えている。

さらに、生徒指導等では、生活日記というものを毎日子供たちに書かせ、そこに書かれている悩みとか問題について、必要に応じて先生を入れて日記を返してあげる、あるいはまた実際に一人一人と話し合いをしな

から問題の解決を図るという形で心の教育を行ってみたい。

教育長 各教育活動の中で、心の教育には十分配慮し、進めているところであるが、作文だけではすべてがカバーしきれないと思うので、各教科、領域、道徳とか特別活動の中で文学教材に接したり、自然観察、美術、音楽、演劇鑑賞など、あるいは日常起居の問題の中で人間関係等についての話し合いを持ったり、場合によっては個人個人の子供と対面しながらその子供が持っている悩みをお互いに聞き合つてカウンセリングをするという形で、心の教育を進めることを本として、町長賞という形で表彰する。町長賞、学校で実施している作文指導等で優秀な成果が上つたもの、例えば、作文コンクールに応募して優秀な成績を上げたこと、本町の作文教育のレベルを上げることに刺激を与えたとかいう場合には町長賞というものが有効であり、表彰制度に参加する主体性というのを各学校現場に求めたい。

また、実際に今学校で行われている作文指導の一部分では、生活文の指導という領域の中で、先生と子供の対話の中で文章をつくり上げていく、心を広げていくという活動も実践されており、新教育課程の中では、そういった面の配慮は進められていくのではないかと考えている。

さらに、生徒指導等では、生活日記というものを毎日子供たちに書かせ、そこに書かれている悩みとか問題について、必要に応じて先生を入れて日記を返してあげる、あるいはまた実際に一人一人と話し合いをしな

から問題の解決を図るという形で心の教育を行ってみたい。

教育長 各教育活動の中で、心の教育には十分配慮し、進めているところであるが、作文だけではすべてがカバーしきれないと思うので、各教科、領域、道徳とか特別活動の中で文学教材に接したり、自然観察、美術、音楽、演劇鑑賞など、あるいは日常起居の問題の中で人間関係等についての話し合いを持ったり、場合によっては個人個人の子供と対面しながらその子供が持っている悩みをお互いに聞き合つてカウンセリングをするという形で、心の教育を進めることを本として、町長賞という形で表彰する。町長賞、学校で実施している作文指導等で優秀な成果が上つたもの、例えば、作文コンクールに応募して優秀な成績を上げたこと、本町の作文教育のレベルを上げることに刺激を与えたとかいう場合には町長賞というものが有効であり、表彰制度に参加する主体性というのを各学校現場に求めたい。

また、実際に今学校で行われている作文指導の一部分では、生活文の指導という領域の中で、先生と子供の対話の中で文章をつくり上げていく、心を広げていくという活動も実践されており、新教育課程の中では、そういった面の配慮は進められていくのではないかと考えている。

心の問題に関しては、一人一人についての対応というところが非常に大事であり、そういった面での指導をこれから考えていく必要があると思つている。

小関議員 私の言っているのは、子供に作文の書き方を教えるのではなく書き方を教えるのでもない。子供が茶髪にするのも自己主張をしているのだ。ただそれはいい悪いというのではなく、心を吐き出させる場を作つて欲しいということだ。押しつけて書かせるのではなく、書きたい子が自分の身の回りや、考えていることを書けばいいのだ。

どんな風に書けばいいのか、どうしたらいいのかと試行錯誤の中で自分を振り返る余裕が出来て、それが心を育てていくのだと思う。これにお母さんたちも参加して守谷町の文芸の本が出来るようになったら嬉しいことだ。

介護保険導入に万全を！

小関議員 介護保険の保険料、介護サービスをどれだけ行えるかということも大事だが、介護してくれるホームヘルパーの数が4月までに確保できるかが心配である。

守谷町にはヘルパーをやりたいて考えている人も多々いると思う。

顔見知りの人がお世話することで心が通い合うことはいいことで、また、雇用対策の上でもそうあって欲しいと願っている。

今後の見通しを伺いたい。

保健福祉部長 現在は、市町村の事業としてホームヘルパー派遣事業を社会福祉

協議会へ委託して行っているが、現在、町には11名のホームヘルパーがいるが、今後どれだけのヘルパーが必要か、確定した数字は出せないところである。

民間のサービス事業提供者が7事業者ほど希望があり、また、シルバー人材センターにおいて、ヘルパー3級の養成事業等も行っており、県内の各地でヘルパーの養成事業等も行っている。何か確保できると思つている。

また、ヘルパーの講習には、3級ヘルパーの講習、身体介護等もできる2級、1級、そういった講習会があり、受講の案内を希望者はかなり多い状況であり、今回も町のシルバー人材センターが主催し、主に高齢者を対象にしたヘルパーの講習会ということで開催したが、かなり希望者が多く、抽選で講習会を行っている状況である。

今後、ヘルパー等の養成については、機会を見つけて実施していきたい。

小関議員 ヘルパー研修会の希望者にはみんなが受講できるようにして欲しい。

また、技術を持った人を多くすることは、守谷町の介護保険を立派なものにするし、老いても健康に暮らせるまちづくりに近づくことだと思つたので、研修会の受講費用を町で負担してヘルパーさんをつくり確保できる体制を作つて欲しいがどうか。

保健福祉部長 社会福祉協議会は、これからは一つの福祉事業の提供者というところ、民間事業者との競争になるかと思う。守谷町社会福祉協議会においても、ホームヘルパーのみでなく、福祉事業に対して、積極的な考え方でも参入、事業の取り組みをお願いしていきたいと思う。

地域振興券事業の総括

西巻 健治 議員

用がその全体の半数を上回っており、消費拡大の呼び水的な役割及び地域商店の活性化に一定の効果がもたらされたと考えている。

西巻議員 地域振興券は、マクロ的に個人消費を喚起し、我が国の経済のプラス成長に大きく寄与し、その予算規模からいって、平成10年度の特別減税2兆円の3分の1弱、平成11年度の減税分9兆3000億円の



ホームヘルパー養成講習会（3級）

約16分の1という少ない地域振興券が、小さな予算で大きな働きをしたということとが確実に言えると経済企画庁が結論づけている。

以上を踏まえ、町長に、地域振興券に対する感想を伺いたい。

町長 振興券が返ってくるのを見て、非常に使われているという感想を持っている。半数以上が中小の売店で消費されているということ、それなりの効果が上がつたのではないかなと思う。

また、非常に経済的にも効果があつたのではないかと考えている。

常磐新線事業に懸念はないか！

西巻議員 常磐新線関連事業について、現在の進捗状況を伺いたい。

都市整備部長 守谷町内の高架橋の工事については、今年の3月に土塔地区の高架橋の工事が発注されたことにより、駅周辺の区画整理の部分を除き、全線にわたつて工事が着工され、小貝川の橋梁、車両基地、利根川の橋梁部分も発注予定と聞いている。

進捗率は、起点側から大柏については、現在9%、土塔の高架橋は4%、北園の高架橋は35%、守谷の車両基地が85%であり、都市軸道路については、赤法花地区は、面積で100%、北園が83%、土塔が80%、大柏地区が25%、平均で47%である。

実際の工事については、一部、北園の低地の部分の高架橋の柱ができていて、台地の部分、軌道の工事はまだ未着工である。駅周辺については、総工事費が258億円、前年度

末で約10・2%の進捗率である。

都市計画道路との関連事業については、守谷東の中、みずき野大日線の用地買収等を行っている状態である。

秋葉原からつくばまでの全線については、現在、東京都内は、ほぼ90%の着工率で、埼玉県に入り、高架橋の一部、中川、江戸川の橋梁の工事を着工している。千葉県に入り、流山市の武蔵野線との交差のトンネル部分は着工しており、柏市は今年の3月に議決し、まだ未着工である。

茨城県に入り、守谷の高架橋3カ所、車両基地、小貝川の下部構造ができています。未着工なのが、つくば市を含む小貝川から以北である。つくば市も、近々に着工予定と聞いている。

西巻議員 守谷東地区画整理事業は、平成10年末で工事はほぼ完了し、事業費が大きく膨らむ中、果たして保留地処分による完全な形で清算が懸念されているが、新線との関連で懸念事項はあるか伺いたい。

都市整備部長 守谷東の事業計画については、事業が残っているのは、事業費で約4億円程度で、みずき野大日線であるが、新線の開通までは当然終わるもので、支障があるとすれば、地の造成ができなかった場合に、地権者の皆さんが非常に不利益をこうむるといふ事だと思つた。

西巻議員 駅周辺の区画整理が進み、立ち退き段階に差し掛かっているが、懸念事項があれば伺いたい。

都市整備部長 仮住居については、一部県営住宅で対応して頂けるような方向になつてきたが、来年から新線の用地部分を空けなければならず、長期にわたる仮

協議会へ委託して行っているが、現在、町には11名のホームヘルパーがいるが、今後どれだけのヘルパーが必要か、確定した数字は出せないところである。

民間のサービス事業提供者が7事業者ほど希望があり、また、シルバー人材センターにおいて、ヘルパー3級の養成事業等も行っており、県内の各地でヘルパーの養成事業等も行っている。何か確保できると思つている。

また、ヘルパーの講習には、3級ヘルパーの講習、身体介護等もできる2級、1級、そういった講習会があり、受講の案内を希望者はかなり多い状況であり、今回も町のシルバー人材センターが主催し、主に高齢者を対象にしたヘルパーの講習会ということで開催したが、かなり希望者が多く、抽選で講習会を行っている状況である。

今後、ヘルパー等の養成については、機会を見つけて実施していきたい。

小関議員 ヘルパー研修会の希望者にはみんなが受講できるようにして欲しい。

また、技術を持った人を多くすることは、守谷町の介護保険を立派なものにするし、老いても健康に暮らせるまちづくりに近づくことだと思つたので、研修会の受講費用を町で負担してヘルパーさんをつくり確保できる体制を作つて欲しいがどうか。

保健福祉部長 社会福祉協議会は、これからは一つの福祉事業の提供者というところ、民間事業者との競争になるかと思う。守谷町社会福祉協議会においても、ホームヘルパーのみでなく、福祉事業に対して、積極的な考え方でも参入、事業の取り組みをお願いしていきたいと思う。

地域振興券事業の総括

西巻 健治 議員

用がその全体の半数を上回っており、消費拡大の呼び水的な役割及び地域商店の活性化に一定の効果がもたらされたと考えている。

西巻議員 地域振興券は、マクロ的に個人消費を喚起し、我が国の経済のプラス成長に大きく寄与し、その予算規模からいって、平成10年度の特別減税2兆円の3分の1弱、平成11年度の減税分9兆3000億円の

末で約10・2%の進捗率である。

都市計画道路との関連事業については、守谷東の中、みずき野大日線の用地買収等を行っている状態である。

秋葉原からつくばまでの全線については、現在、東京都内は、ほぼ90%の着工率で、埼玉県に入り、高架橋の一部、中川、江戸川の橋梁の工事を着工している。千葉県に入り、流山市の武蔵野線との交差のトンネル部分は着工しており、柏市は今年の3月に議決し、まだ未着工である。

茨城県に入り、守谷の高架橋3カ所、車両基地、小貝川の下部構造ができています。未着工なのが、つくば市を含む小貝川から以北である。つくば市も、近々に着工予定と聞いている。

西巻議員 守谷東地区画整理事業は、平成10年末で工事はほぼ完了し、事業費が大きく膨らむ中、果たして保留地処分による完全な形で清算が懸念されているが、新線との関連で懸念事項はあるか伺いたい。

都市整備部長 守谷東の事業計画については、事業が残っているのは、事業費で約4億円程度で、みずき野大日線であるが、新線の開通までは当然終わるもので、支障があるとすれば、地の造成ができなかった場合に、地権者の皆さんが非常に不利益をこうむるといふ事だと思つた。

西巻議員 駅周辺の区画整理が進み、立ち退き段階に差し掛かっているが、懸念事項があれば伺いたい。

都市整備部長 仮住居については、一部県営住宅で対応して頂けるような方向になつてきたが、来年から新線の用地部分を空けなければならず、長期にわたる仮



住まいになった場合に、その補償の問題が心配される。

**西巻議員** 町長が今描いている駅周辺の具体的なイメージがあれば伺いたい。

**町長** 高さ制限、外壁の色等、建築協定なり縛りをつくり、ヨーロッパ的な外観であるとか、日本でいうと原宿みたいな感じをイメージしており、これには地主さんの協力等も当然必要であり、そういったことも考慮しまちづくりをしたい。

**西巻議員** 第三セクター方式での鉄道経営は、全国で38路線中30路線が経営破綻を来しているという報道があった。

この常磐新線も第三セクター方式であり、1都3県にまたがる出資によるもので、守谷町は平成16年末で27億2170万円出資するわけだが、官と民の出資割合はどのぐらいの比率になるか伺いたい。

**都市整備部長** これまで経済情勢等で民間の出資が得られなかったが、昨年やつと民間165社から200億円の出資を得られた。しかし、1兆5000億円の内の200億円なので、ほとんどが官の出資である。

**西巻議員** 第三セクターは、官の公共公益性、民の収益性がドッキングし、利益を生み出してこういう発想であり、果たしてこの常磐新線が採算ベースに乗せられるのかという懸念がある。担当部局としての見解を伺いたい。

また、新都市鉄道株式会社について、情報をできるだけ収集し、住民の方々に周知して頂きたいがどうか。

**都市整備部長** 採算については、開業後16年でペイになるという当初の試算であるが、沿線開発全体で、東京都から茨城県まで292

5ヘクタール、一体型の区画整理事業があり、これが早く完了し熟成度が早まれば利用率も高まると思う。入居が進まないというところになると、開業16年の予測が相当長引くだろうと懸念している。

また、首都圏新都市鉄道の状況については、情報公開の時代であり、住民の皆様方にもわかるような情報を提供する事に努力していきたい。

### 子育て支援策



実りある少子化対策を！

**西巻議員** 将来の緊急保育五カ年計画を策定するため

の緊急の呼び水的な形で2000億円の補正予算が可決され、守谷町の場合は688万7000円という

特例交付金が交付されるが、雇用対策、就業機会の創出という趣旨を踏まえ、子供が出生した場合、助産婦が新生児の訪問を2回実施する新生児訪問事業等、メンタルな部分にこそ、この子育て支援事業の交付金を使

うべきではないかと思う。期間の延長も含め、駆け込み寺的なケアの体制をつくる一つの事業というものを立ち上げて、この交付金を使えないか伺いたい。

**助役** 交付要綱があり、これは交付対象事業外になっており、該当が難しい。また、少子化対策につい

ては、現在、プロジェクトチームをつくり、各項目につき少子化対策のピックアップをする作業を進めているところであり、十分検討していきたい。

### 町税について問う

吉田 実 議員

**吉田議員** 土地の評価額の決定方法、評価箇所数とその箇所数の根拠、土地鑑定の依頼先とその入札決定方法について答弁願いたい。

**総務部長** 守谷町では、分譲住宅の場合、評価額に対して、課税標準額は大体7

9%という率になり、また、評価額は公示価格の7割が目安であるが、現在地価が下落しており、宅地で345筆ほど税率を下げた所や、5000筆ほど税額を据え置いた所もある。

それから路線価は、224箇所を評価ポイントとして使用し、一地点の鑑定料は5万3千円ほどかかっている。また、基準値は今のところ8・5%ぐらい下がっていると思う。

不動産鑑定士については、入札ではなく、財団法人の茨城県不動産鑑定士協会に依頼し、2名推薦していただいている。

**吉田議員** 守谷町においては、宅地はマイナス8、商業地はマイナス9・8と地価の下落が目立っており、評価替えにより基準地価が下がれば、当然評価も下がると考えるがどうか。

**総務部長** 課税については、土地評価の7割を目指して実施しているが、現在地価

を検討する必要があると思うがどうか。

**助役** 今後の少子化対策は、女性の高学歴化、未婚化、あるいは晩婚化ということがあり、国レベルの対応が必要であると思うが、本町においても、十分検討していきたい。

**西巻議員** 町として子育て支援の戦略を考えていく上で、もっとメンタルな部分

は下落しており、実状とか離れた税率になるため、前年に対し最小限の1・025という負担調整率をかけたが少なすぎても近づけたが難しいものがある。また、その対象となる町内の宅地は約8割である。

**吉田議員** 現在、目的税である都市計画税を公共下水道事業等に充当しているが、その税率改正の可能性と充

当事業について、また、旧態依然の状況である既存の市街地整備についての考えを伺いたい。

**総務部長** 都市計画税は約6億円という大変な財源であり、駅前整備事業が充当先の代表格であると思う。その他、公団による建て替え施工された学校の償還金に充当しており、都市計画税の廃止、税率の改正は、今のところ考えられない。

既存の市街地については、坂町清水線への都市計画税充当を考慮しており、駅前整備事業が終了した段階で、徐々に輪を広げて、区画整理事業を進めていきたい。

**町長** 守谷町では、都市計画道路等、非常に費用のかかる事業が控えており、それらの整備を進めてから、税率の変更について考えるべきかと思っている。

**吉田議員** 錯誤等による税金の返戻については、町では平成8年度から税法上の5年間のほか、さらに5年分の計10年分を返戻するとしているが、町側が課税状況のデータを長期に保管し、課税ミスに基づく請求があった場合は、相手の領収書の有無にかかわらず返戻できるようにすべきだと考えるがどうか。

**吉田議員** 支払い確認ができるような体制があり、解明できれば返戻したいと考えており、今後検討したい。

**吉田議員** 納税の意欲を高め、地域の連帯、そして行政の一部事務を担ってきた組織である納税組合の今後のあり方、方針について説明願いたい。

**総務部長** 納税組合には、13億円以上の税の取り扱いを願っていることから、正当なあるいは正常な納税組合になるように指導をしながら、存続させていきたい。

**吉田議員** 平成14年開催の茨城インターハイは、当町でもハンドボール競技を行うと聞いているが、経費の概算、及び開催施設等の整備に對し出される補助金の活用方法について伺いたい。

さらに、地元が経費の一部を負担することから、地元での消費を促し、商店街活性化に繋がる方策を検討して欲しいがどうか。

**町長** 会場となる守谷高校は県立であり、広域の体育館も市町単独の施設でないため、その補助金の扱いについては明確ではないが、会場は水海道、岩井、守谷という広域の構成市町であり、もし県の補助金が出ない場合でも、広域にお願い

し、ある程度は整備する必要があるかとも思う。

経費については、1億から1億5000万円見込んでいたが、少ない経費で最大の効果を上げ、非常に印象に残る大会になるように努力を重ねていきたい。

と同時に、来町者数は応援の方を合わせると大変な数になると予想され、地元消費を促す方策について、商工会と協議していきたい。

また人員は、地元のボランティアや高校生等をお願いすることになると思う。

### 常総環境センターの今後について

**吉田議員** 常総環境センターの塵芥処理処分場については、組合の当初予算に計上し、年度末に減額するという状況が数年続いているが、構成団体で早急に解決すべき重大な課題である。

そこで、処分場の現在の状況と今後の展望、さらに問題点を説明願いたい。

**町長** 現在、戸頭地区に最終処分場をつくるべく努力をしており、高温溶融によりスラグ化して路盤材に使う、あるいは、余ったものを埋め立て処分する方式を採用し、現在も予定地の地権者の方々と交渉をしており、買収に応じるという約束も得ている。

しかし、溶融方式では、現在の炉以外に溶融施設が必要となり、現在の炉の耐用年数も考慮すれば併せて実施する必要があるため、その辺の整合を図るため、現在なかなか買収に入れないが、できるだけ早い時期に買収をしたいとは思っている。

**吉田議員** 焼却施設についても、今後の建設、存続には地元の協力が不可欠であり、施設改善の地元対策や、

岩井市の暫定加入という状況に對し早急に結論を出すべきと考えるがどうか。

**町長** 施設の建設、建て替え等については、できれば現在の場所をお願いしたいと考えており、地元の方々の理解を得た上で建設に当たっていかねばならないと思っている。

また、岩井市は平成14年ごろに、猿島地域の広域へ移行をしたいとの申し入れがあった。

### 結核予防について

**吉田議員** 当町の結核の発生状況、関係部署との対応策、高齢者や子供たちへの結核予防のPR実施状況等について伺いたい。

**保健福祉部長** 個別的な医

### みずき野地区に交番を！

平野 寿朗 議員



戸頭駅からみずき野へ

**平野議員** 最近、このみずき野地域で、戸頭駅のロータリーのところの恐喝、暴力、小学生の交通事故、中学生に対して高校生と思われる方々の暴力事件、金銭の略奪、恐喝事件、夜中のマフラーを除いたバイクでの暴走行為等、交番の必要性を感じよう事故が多発している。

交番の設置については、

療診断受診時に発見された結核患者数は、平成8年が8名、9年が13名、10年が14名と毎年増加傾向にあるが、町の集団検診の中での結核患者はゼロであった。

守谷町では、二カ月児に對して個別通知等を行いBCGの接種を積極的に進めており、また、乳幼児期のBCGの有効期間が10年で、中学生になると効果が下がるため、追加のBCGを行っている。その後、16歳になつてからX線検査を行い、以後定期的に検査が必要になるため、年1回の定期検診を積極的に勧めている。

厚生省の結核緊急事態宣言を受け、8月の広報で結核に関する記事を載せており、今後も保健センターの各種行事、教室等の際に積極的にPRをしていきたい。

予算の問題、人員の法律的問題等もあると思うが、派出所程度でもあれば、かなり未然に防げる問題が含まれているのではないかと考える。

教育の問題等内部から未然に防ぐ努力も必要であると思うが、約2000戸、7000人の人口を抱える地区なので、早急に対処願いたい。

**生活経済部長** 交番と駐在所を含めた警察署設置要望については、住民の安全で安心できる日常生活確保のため、平成8年7月に、茨城県警察本部に對し、本町内への警察署設置要望書を提出しているが、警察署設置については、時間がかかると思われるので、平成10年6月に、とりあえず交番

設置の要望書を、みずき野地区として提出している。

また、平成11年2月には、町長が直接茨城県の警察本部を訪れ、守谷町の実情を細かく説明し、早期設置をお願いした。引き続き警察署または交番、あるいは駐在所の早期設置を強く要望していききたい。

なお、本年4月1日から守谷地区交番に1名の警察官が増員され、パトロールも強化しているという警察署の説明であった。

町長 新しく交番を設置するという話はなかなか難しいという話は受けており、今後とも熱意を持って要望していききたい。

### 消防署前に 信号機を！

平野議員 7月30日、みずき野地区内の消防署前の横断歩道で、小学校4年生が交通事故で死亡するという痛ましい事故が発生した。

あの道路は交通量が非常に多く、住宅の真ん中で小学校もあり、乙子交差点の立体交差が実現しないまま、消防署の前の十字路は迂回路になっており、交通の混雑、迂回路、左折、右折、あそこが頻りに使われる中で起きた事故だと考えざるを得ない。

当面の措置として、早急に信号機を設置をしていただきたいがどうか。

生活経済部長 町としても、非常に危険な交差点であるという認識のもとに、既に信号機設置の要望はしており、町全体でも32カ所設置の要望をしている。

警察署の方でも、年間に取手署に割り当てられる信号機の設置量そのものが少なく、なかなか各市町村からの要望にこたえられない

というのが現状である。この交差点については、死亡事故が先般発生しており、信号機の早期設置を働きかけていきたい。

### 郷州小グラウンド 改修工事について

平野議員 改修工事が予定通り完了したが、水が今までの以上に留まっており、明らかに工事をやる前よりも、悪い状態になっているという印象を受ける。

PTAの皆さんやサッカーの指導をしている皆さんが、何回も石を取り除く作業をしており、運動会の前にもPTAの皆さんが集まって作業をやらざるを得なかった状況である。

工事完了後の竣工検査、あるいは、設計段階でどうだったのか伺いたい。

教育次長 郷州小学校の工事については、昨年11月から今年3月の工期で工事を実施したが、実際にグラウンドを掘削したところ砂利が入っていたという事で、その後も不陸整正等実施したが、現在も砂利が出てくる状況であり、その砂利を取り除く方法を今後検討していかなければならない。

また、受け渡しのときには、確かに砂利が出ていたが、設計の段階で細かい指示事項もなかったもので、そのまま竣工検査をして引き受けたという事である。

平野議員 事業をやる目的は、良いグラウンドにすることが目的であって、予算を消化することが目的ではないと思う。その都度、改善すべき事項があったらそれに手をつけるべきではないだろうか。

ぜひ住民の立場、子供や保護者の立場に立って、今後の改善をお願いしたい。

### 白寿荘の 利用度アップを！

平野議員 白寿荘について、年間のランニングコスト、利用者数、利用者の負担額を伺いたい。

総務部長 白寿荘の年間のランニングコストは、人件費等光熱費を含め、約1億円である。また、歳入は平成10年度で1640万円である。利用状況については、平成10年度で3万5881人で、ピーク時の平成7年が3万6600人ぐらいなので少しづつ下がってきている状況である。

平野議員 建設費、耐用年数を伺いたい。

総務部長 白寿荘は昭和50年3月オープンで、当時の建設費が2億7446万4000円である。

平野議員 おふろに入る場合は5時までで、4時に入場が終わってしまうが、なにか理由があるのか。

総務部長 5時というのは、宿泊者の関係でそういうシステムになっていると思う。

### 町は人事院勧告 55歳昇給停止を守れ！

栗橋議員 長引く不況で、財政運営上大変な努力をしていると思うが、今、町の負債総額は幾らあるのか、

平野議員 事業をやる目的は、良いグラウンドにすることが目的であって、予算を消化することが目的ではないと思う。その都度、改善すべき事項があったらそれに手をつけるべきではないだろうか。

ぜひ住民の立場、子供や保護者の立場に立って、今後の改善をお願いしたい。

採用数と全職員数、特別会

また、夜間は民間の方に委託して管理しているというかわりもあると思う。

平野議員 セツク焼却場とセツクでできた施設だと思ふので、皆さんが利用するような近代的な施設とし、原則独立採算制で、お年寄りの方にはルールをつくり、無料なり低額で利用していただく等、利用度の高いものにして欲しい。

第三セクターでも、完全民営化でもいいと思うが、場所と建物を提供して独立採算にしていく、その中に福祉を含んでいくというのを提案したいがどうか。

総務部長 民間として採算の合うような形ができれば一番良いと思うが、老人福祉も踏まえての白寿荘だと思ふ。

事務局レベルとして、広域の自治体に今言われたようなことを提案し、あるいは宿泊施設が本場に今後必要なのかどうか等検討し、常総広域の福祉計画の中に取り込んでいただければ、努力していききたい。

町では、多いときは、住民100人当たり1人の割合で職員を採用してきた経緯があるが、むしろ税収に対する人件費の割合という経営感覚が考慮されるべきで、守谷町でも、行政改革先進自治体に加わるべく職員削減数値目標を示し、公表してはどうか。

総務部長 平成20年度には、130人に1人ぐらいの定員にしたい。

町長 歳入に対する歳出の割合で職員の給与が何パーセントということも、これからは必要になってくると思う。

栗橋議員 民間は、既に大手金融機関まで経営破綻し、合併やリストラで、賃金カットはもろもろ、大量解雇も珍しくないことではない。これを踏まえ、人事院は国家公務員について、初めて年収ダウンの勧告を出した。

町も、昨年度は86億円の収収があったが、この25%が人件費であり、昨年も1・75%の昇給で、総額2000万円も引き上げた事実がある。また、人事院勧告と町独自の給料引き上げのダブル昇給制度は、この不況下、町民感情としても許されない。町独自の昇給制度は廃止して、人事院勧告一本の昇給制度に改めるべきと思うがどうか。

また、平成10年度全会計の歳入は277億円で、税収に対する人件費という見方ではなく、全歳入に対する人件費という見方をし、約10%と理解して頂きたい。

今回の平成11年度人事院勧告は、一般職の場合0・28%のベースアップ、ただし、ボーナスについては0・3カ月分引き下げるというものである。この人事院勧告を当町に当てはめると、約3370万円ほど減額になり、1人当たり8万4000円ほど減額になる。

栗橋議員 以前に、人事院勧告の中で、55歳昇給停止という勧告も含まれていたが、どうなっているのか。

総務部長 55歳ではなく58歳で昇給停止をしている。収入役 隣接市町村の状況を調査したところ、取手市、水海道市、岩井市、藤代町、谷和原村、伊奈町、利根町と、各市町村とも56歳からの停止は行わないということなので、近隣市町村の状況というものも十分考慮に入れながらやるべきではないかという事で、当町も58歳からとした。

栗橋議員 現在、守谷町には夫婦で勤めている方は、何組いるのか、伺いたい。

総務部長 現在、44組あり、男女の格差をつくるということ、また、職業選択の自由というのがあり、これを何らかの形で放棄するということは、ちよつと無理かなという気がする。

栗橋議員 昇給は年1回であり定期昇給である。人事院勧告というのは、その上がった部分に関して、民間ではどういう経済状況でどうなっているか、その差額を何パーセントか上げるといふものである。

また、平成10年度全会計の歳入は277億円で、税収に対する人件費という見方ではなく、全歳入に対する人件費という見方をし、約10%と理解して頂きたい。

今回の平成11年度人事院勧告は、一般職の場合0・28%のベースアップ、ただし、ボーナスについては0・3カ月分引き下げるというものである。この人事院勧告を当町に当てはめると、約3370万円ほど減額になり、1人当たり8万4000円ほど減額になる。

栗橋議員 以前に、人事院勧告の中で、55歳昇給停止という勧告も含まれていたが、どうなっているのか。

総務部長 55歳ではなく58歳で昇給停止をしている。収入役 隣接市町村の状況を調査したところ、取手市、水海道市、岩井市、藤代町、谷和原村、伊奈町、利根町と、各市町村とも56歳からの停止は行わないということなので、近隣市町村の状況というものも十分考慮に入れながらやるべきではないかという事で、当町も58歳からとした。

栗橋議員 現在、守谷町には夫婦で勤めている方は、何組いるのか、伺いたい。

総務部長 現在、44組あり、男女の格差をつくるということ、また、職業選択の自由というのがあり、これを何らかの形で放棄するということは、ちよつと無理かなという気がする。

栗橋議員 昇給は年1回であり定期昇給である。人事院勧告というのは、その上がった部分に関して、民間ではどういう経済状況でどうなっているか、その差額を何パーセントか上げるといふものである。

### 補助団体の自立と 補助金の有効活用

中村 力 議員

中村(力)議員 町では、国際交流協会等補助団体に補助金を交付しているが、国際交流協会を例にみると、出資金として122万2千円を受け、国際交流基金1億514万9千円、さらに青少年海外派遣基金579万6千円を積み立てている状況であり、近年の財政難による歳出削減という観点から考えれば、自立の道へ誘導すべきと思うがどうか。

総務部長 国際交流協会への補助金については、平成10年度決算額525万円の内、200万円は自治体国際化協会から、100万円は昨年の発足10周年に対する臨時的な補助金である。国際交流協会の自立については、ご指摘のとおりと思っており、今後、協会と

一緒に模索していききたい。

中村(力)議員 国際交流協会等補助団体への補助金を全て削るのではなく、仮に1年間留保し、別なものに運用し生かしていけば、少ない財源の中での財政運用というものが非常に幅広く、活発になると考え、十分検討して欲しいがどうか。

総務部長 町の補助金は、平成11年度で総額3億7248万4千円であるが、もう少し厳密に見直すべき時期に来ていると思う、そういった意見を踏まえながら、補助金の有効な活用、あるいは内容の見直し等に着手していきたくと考えている。

住民との対話が  
生み出すまちづくり

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

与えて、消費動向も、きちんと掌握した上で事業者に対して指導して頂きたい。

また、プレミアムをつけた商品券を発行するため、ある程度町としても指導していくべきと思うがどうか。

生活経済部長 今回の事業が12月で完了するが、この結果等を見て、商工会と今後の取り組みについてはご相談していききたい。

町長 例えば、商工会の方で発行する商品券あるいはサービス券、そういったものの活用方法、それらに対する補助ということも考えられると思うので、商工会の方と十分協議をして、地元の方の商業の活性化のために努力していききたい。

中村(力)議員 国際交流協会等補助団体への補助金を全て削るのではなく、仮に1年間留保し、別なものに運用し生かしていけば、少ない財源の中での財政運用というものが非常に幅広く、活発になると考え、十分検討して欲しいがどうか。

総務部長 町の補助金は、平成11年度で総額3億7248万4千円であるが、もう少し厳密に見直すべき時期に来ていると思う、そういった意見を踏まえながら、補助金の有効な活用、あるいは内容の見直し等に着手していきたくと考えている。

住民との対話が  
生み出すまちづくり

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

中村(力)議員 駅前整備

事業において、高齢者対応型集合住宅(デンマーク型)の建設計画を要望する提案書が住民から出されているが、町では、守谷駅周辺一体型土地区画整理事業の仮住居使用期間は、事業完了予定の平成20年度までであり、構造及び面積等は仮住居期間中の耐用年数及び予測される利用状況から、戸建て方式を考慮しており、仮住居を将来高齢者対応の集合住宅に利用することはないとの回答であった。

今後の地方分権の時代、まさしく住民自治の時代に入るとき、常に住民と行政が対話をするべきであり、こういう返事を出す場合でも、次に対話をつなぐ形をとるべきではないかと思うが、どの様に考えるか。

**総務部長** これから対話の形式というものが大事であり、互いにやりとりできるようなチャンネルをつくっていくのも一つの手であると思う。参考にさせていた

だきたい。

時代に即し

商工費の強化を！

**中村(力)議員** 平成10年度の主要事業の成果説明書の事業の効果として、中小企業者が自治金融117件、振興金融1件を活用し、活性化が図られたとあるが、その判断基準は何か。

**生活経済部長** これらの資金を運転資金あるいは設備資金等として借り受け、活用し、それによって事業所の拡大を図ったことにより、経営の安定を図れたものと評価している。

**中村(力)議員** 在来のお店あるいは中小零細企業を営む方に対し、もっと積極的に枠を拡大して、事業意欲が活発になるようにすべ

きと考えるがどうか。

**町長** 郊外型の店舗、レストラン等が非常に増加し、既存の商店街がかなり痛手を受けているという社会全体の趨勢であり、ただ単に補助金を出すのではなく、これからのまちづくりの中で、今後の商店街、商工業の方向性を、商工会の方々と話を進めていきたい。

また、既存の商店街については、道路の交通体系も検討する必要があるが、今後、駅前地区の区画整理等と絡めた話で進めていかなければならないと思っている。

地元の意思を

反映した事業を！

**中村(力)議員** 駅前の区画整理事業については、新町町内の地権者から、苦情や反対の意見が町に提出されたと聞いているが、今後の対応について伺いたい。

**都市整備部長** 今後土地区画整理審議会の中でその意見の内容を説明し、審議委員の意見を伺い、換地について理解を得られるように話し合いを続けていきたい。

**中村(力)議員** 今回、都市計画決定道路に関連する一般街路について意見があったわけだが、今後、駅前事業を進めていく過程で、補償の問題等はかなり難しさを伴ってくるのではないかと。それならば、ある部分の区域変更は考えられないものなのか。

**都市整備部長** 都市計画道路路みずき野大日線が、カーブをとった線形であり、それに沿った2本の区画街路が不要であるという地元の要望であった。地元の交通安全面等を考慮した計画であったが、これから換地変更の可能性については十分検討をしてみたい。

環境センター諸施設の今後の情勢について

**中村(力)議員** ごみ処理施設については、現有施設の耐用年限が迫っており、溶融方式を含めた施設の建設を予定しているが、どの様な考え方に立ち、住民に

対して理解と協力を求めているのか。

**町長** もし現在の所に建てかえをするということになれば、当然、新しく施設を建てるという考えのもとに、施設の安全性について説明しながら進めていかなければならないと思う。

**中村(力)議員** 次期施設に関する資料の中で、溶融施設が平成12年から14年に

住民サービスの向上を  
目指した人事異動を！

椎名 七生 議員

**椎名議員** 職員の人事異動は、適材適所を狙いとして、職員が能力を発揮し、町民によりよいサービスを提供することを考慮し、実施していると思うが、その効果について伺いたい。

**総務部長** 現在、職員に対して自己申告書を年1回提出してもらい、それを参考に人事異動を実施しており、以前と比較すると改善されていると思う。

**椎名議員** 地方自治の時代と言われているが、町への様々な権限委譲や、法律に伴う条例改正等もかなり出てくること予想され、事務的にも大変難しくなると考えられる。

人事異動があまり頻繁に行われると、そういった状況に対応できなくなることが危惧され、現に、仕事に

計画され、本格的な焼却施設が15年から18年に計画されている。ここに4年間のギャップがあるが、これはどの様に理解したらよいのか説明願いたい。

**町長** 最終処分場において焼却灰を処理する方法として、当初、セメント固化方式が考えられていたが、途中からダイオキシン問題が浮上したため高温溶融方式が採用され、溶融施設と焼却炉は別に建設するという

ことであった。しかし、技術の進歩により、一つのかまで焼却と溶融を行うことが可能となり、現在は効率等を考え、一緒に行う方式がよいのではないかという話になっている。

ており、ひいては、組織のマンネリ化防止にも繋がるかと考えている。と共に、民間企業の方に聞いたところ、土曜日は自己研鑽のために自費で研修を受けて勉強されており、日曜日は一般的に休養し、また月曜日から仕事に向かうという形が多いとの事であり、公務員として町民から信頼されるためにも、全職員が与えられた仕事だけをやらなければならないのではなく、もつと自分の能力を発揮できるように、一人一人が自己研鑽に努めてもらいたいと思っている。

利根左岸について

又未 成人 議員

**又未議員** 稲戸井調節池事業は、洪水の際に稲戸井遊水地へ滞留させ、時間をかけて放流することにより、下流部の安全を守るために、また、利根川からの大量の水の流出による小貝川への逆流を防ぎ、利根町、取手市、藤代町の安全を目的とした事業であると理解している。

一方、五反田川と羽中川の水門には機場はなく、川が増水した場合、自動的に水門が閉まり、南守谷の調節池から流れた水が羽中川の水門でせき止められ、水田が全部冠水するという事態が引き起こされる。

この解消策を、治水事業と併せて建設省と具体的に話を進めて欲しいがどうか。

**総務部長** 大雨の際に羽中川等の内水が溢けないという状況も踏まえ、今後、建設省はじめ関係各課、関係者と話し合いたい。

**又未議員** 利根左岸部分のがけ地については、台川端地区では、下の部分を全部建設省が買収し、工事に着手し易いと聞いており、西根切地区についても、将来的には全面買収の予定であるため、建設省と地権者の間に町が入り、具体的に調整をしてもらえれば着手し



利根左岸地区にある軽飛行場

易いと聞いているが、町の考えを伺いたい。

**総務部長** そういう事であれば、地権者の方々と間に町が積極的に介入し、建設省とも話し合いを進めさせていたいただきたい。

**又未議員** 利根左岸地区の全面買収終了後の利用方法について、建設省とはどのような話をしているのか。

**総務部長** 利水から治水へと方向が変更になり、全体計画がまだ正式に示されていないが、内容により、町も積極的に建設省に提案をしていけば、少しは取り上げてもらえる可能性はあると思う。

**又未議員** 河川敷の部分全面買収する場合、高速度路あるいは常磐新線の下は、掘り下げずに現在の高さである認識している。とすれば、現在、高野地区の畑や水田の耕作者に対し、町が間に入り、農地として建

設省との契約で貸すという事はできないものか。

**総務部長** ある程度、稲戸井調節池も掘ると聞いているが、その農地の扱いについては研究させて欲しい。

**又未議員** 現在、河川敷では、畑やモトクロスバイクの練習等に使用されているが、一つの例として、有料にして町がシルバークルサーなどに管理を依頼するなど、利用面、管理面について検討して欲しいがどうか。

**総務部長** 調節池の自然保護や青少年の育成という面を考慮し、いろいろな研究を進めていきたい。

**又未議員** 利根左岸における猟区についてはどの様な状況になっているのか。

**生活経済部長** 利根川河川敷は鳥獣保護区になっておらず、一部農地として耕作しており、有害鳥獣の駆除により、農作物への被害が減少していることから、現時点では、その区域の地権者等の要望がない限り、設定の同意を得ることは難しい状況にあるかと思う。

ただ、狩猟事故も考えられ、広報等を通じて住民に周知すると共に、立て看板の設置、安全パトロール等を実施しており、今後も安全対策に努めていきたい。

**又未議員** 利根左岸には飛行場といわれる場所が2カ所あるが、飛行場として許可している法的根拠及び期間について伺いたい。

**生活経済部長** 飛行場としての許可はされていないが、航空法第79条に基づき、運輸省の東京航空局からその場所においてのみ離着陸の許可を受け、その期間は3ヶ月単位で更新するという

ことになっている。また、主にヘリコプターや、土曜、日曜日には、ウルトラライトプレーンというレジャー飛行機が使用されている。

**又未議員** パイロットは、航空法に基づく免許を持っているはずであるがどうか。

また、飛行区域は守られているのか伺いたい。

**生活経済部長** 航空法に定められた飛行機のパイロットは、航空法第23条に基づく免許は取得しているものと見ており、高野地区で飛行を行っているグループについては、第79条の許可を受け離着陸の範囲を守っていると思われる。

しかし、土、日、祭日等は、個人またはグループがレジャーとして無許可で、美國地区の上空を飛来していると思う。

**又未議員** 以前、塙地区の水田に飛行機が墜落したという事実があり、美國地区の方々も非常に危険を感じており、飛行区域以外を飛ばないような方法を町でもとって欲しいがどうか。

**生活経済部長** 美國地区からも、騒音問題や危険度の問題で苦情を受けており、運輸省航空局を通じて指導はしているが、今後、美國地区の代表者、飛行場経営者、町が一緒に、協議をして指導していきたい。

貴重な水資源の有効利用を願う

**又未議員** 守谷町の県内における下水道普及率の順位について伺いたい。

また現在、浄化センターが出している排水量及び、再利用について見解を伺いたい。

**都市整備部長** 下水道普及率については、現在87・7%で、市を除いては県内でトップである。また、排出量は2万8千



立米であり、再利用の水量は、1日850立米である。また、再利用については、四季の里公園への使用等を考えているが、水道料金よりも低料金で供給しなければならぬと考えており、今後検討していききたい。

住民の立場に立ったサービスを！

松本 明子 議員

松本議員 みずき野の方々が多く利用している戸頭駅の自転車駐輪場は未整備であり、屋根がないため、雨の中、自転車をとめており、その利用者だけが取り残されている状況である。この対応策を伺いたい。

生活経済部長 戸頭駅の行政区は取手市であるが、みずき野地区の方が大分利用しているため、現地を確認し、現状は把握している。

自転車駐輪場への屋根設置の必要性は十二分に理解できるが、段差や植樹があることから、関係課との協議も必要であり、年度内くらいまで時間をいただき、検討して結果を出したい。

松本議員 窓口業務においては、本当に困って来られた方がつらい思いをしたり、プライバシーが侵害されたという話も聞いている。また、問い合わせに対し、よく調査せずに即答した回答と、その後の新聞報道が異なっていた事があった。

この問題について、どう感じ、職員の意識改革、教育を行っていくのか。

町長 ご指摘のような対応があったとすれば、まことに遺憾であり、改めておわびを申し上げたい。

常々言っているように、住民の立場に立った対応を心がけるように再度言い聞

「公」という文字を入れた納税通知書と郵便振込用紙を期別に送付しており、前納も可能であり、その手数料は町が納めている。

また、町内では希望者に

対し、郵便局でも振り込みができるようにしている。

松本議員 郵便局の収納代理郵便管署について、住民サービスの一環としてさらに指定金融機関と話し合い、住民が利用しやすい方向で検討をして欲しいがどうか。

収入役 正式な郵便管署という形は現行法ではできないが、今後、介護保険等も実施され、収納率アップという目的もあり、住民の利便を図るという面からも、十分検討してみたい。



常総環境センター

松本議員 環境センターの建て替えを行うということだが、高温溶融炉の安全性は、試作段階の域を出ていないといわれており、疑問視する声も聞いているが、安全性についての認識を伺いたい。

町長 現時点で、高温溶融炉は一番安全だと言われている。視察等も行っている。今のところ、この方法でいく方針である。

松本議員 環境センターの建て替えを実施するには、地元の方々の安全を保障するとともに、利用する6市町村がごみの分別を徹底し、

塩分がダイオキシン発生につながるから、生ごみを持ち込まないということ協定事項等に盛り込み、事業計画を明らかにすべきであると考えている。そこで、初心に返り、地元の方たちの味方になれるよう努力して欲しいがどうか。

介護保険と福祉サービス

松本議員 介護保険制度実施について、町では現状の福祉水準は後退させないと言っているが、本当に守れるのか。

保健福祉部長 介護保険で法的に給付されるサービス以外のものについては、従来の一般の福祉サービスで実施し、できるだけ福祉水準を後退させないような形で今後も進めていきたい。

松本議員 はり、きゆう、マッサージュについては、今まで年間12枚の補助券を出していたが、今後6枚にするという方針であるという。

これは福祉の後退につながるのか、説明願いたい。

保健福祉部長 年間の平均利用回数が約6回という実績を勘案し、年間6枚程度が適正であると考えている。

松本議員 介護保険の保険料、利用料に対する減免制度は検討しているのか。

また、自立と判定された場合でも、ある程度在宅的な生活の支援、あるいは予防的な支援、ケアといったものは必要であり、町独自の福祉施策的な考え方で実施していきたい。

松本議員 10月の認定審査開始前に、審査委員に資料を配付し、考える時間を与えるなど、正確な判断を導く手だての検討が必要であり、そのためにも、職員増員が必要と考えるがどうか。

保健福祉部長 審査委員は、9月から県主催の研修を受けており、町でも、同じ視点に立った調査、審査ができるよう、研修会等を計画している。

また、審査の円滑化を図るため、事前に審査のケースを渡し、検討してもらう形で進んでいる。

また職員の体制は、現時点では、現体制で何とかやれるのではないかと考える。

松本議員 判定への不服に対する窓口は県にあるだけなので、守谷町独自に、専門の担当者を置くつもりはあるか、伺いたい。

保健福祉部長 審査の受付、介護認定は町において実施するものであり、苦情や相談の発生が予想されるため、今後、理解を得られるような体制をとっていきたい。

倉持 洋議員  
西巻健治議員  
寺田 達議員  
表彰される

西巻健治議員、寺田 達議員、倉持 洋議員



去る6月15日に、茨城県町村議会連合会より、本町議会の倉持洋議員、西巻健治議員、寺田達議員が、多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により表彰されました。伝達式は7月14日の第3回臨時会本会議前に行われました。

次の定例会は12月3日開催を予定しています。

庁舎1階ロビーのテレビで、本会議の様子を放映します。

第4回（12月）定例会の日程

※土・日・祝日は休会となります。

| 会期日程                                   |     | 1                                                                                                            | 2            | 3                       | 4                       | 5              | 6              | 7             | 8  |
|----------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------------------------|-------------------------|----------------|----------------|---------------|----|
| 本 会 議                                  |     | 1                                                                                                            | 2            |                         |                         |                | 3              | 4             | 5  |
| 告示日                                    | 5日間 | 議案上程<br>提案理由説明<br>重点事項説明                                                                                     | 原案に対する<br>質疑 | 常任委員会<br>常任委員会<br>常任委員会 | 常任委員会<br>常任委員会<br>常任委員会 | 町政に関する<br>一般質問 | 町政に関する<br>一般質問 | 委員報告・質疑<br>討論 | 議決 |
| 5 4 3 2 1<br>議会運営委員会<br>(告示日以降のいずれかの日) |     | ○常任委員会は委員の間で日程を調整し、委員長が招集します。<br>○町政に関する一般質問は、通告制をとっていますので、1日で終了することもあります。<br>○本会議、各委員会（委員長の許可が必要）とも傍聴ができます。 |              |                         |                         |                |                |               |    |

※上記の表は標準的な日程であり、正式な日程については、議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されます。